

四中だより

夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校
校訓 自主・自律 協同

新座市立第四中学校学校だより 令和6年3月1日 第12号
TEL 048-477-6053 URL <https://j-daiyon-c-niiza.edumap.jp/>



一人の時間、それも大事

校長 鮫島 弘樹

「トイレに扉が付いていないのは、当たり前のことだったよ」「水洗と言っても、そこに置いてある桶で何度も水を汲んで、自分で流すんだよ」海外経験の豊富な知人が、様々な外国のトイレ事情を教えてくれたことがあります。

総じて言えるのは、日本ほど公共のトイレが綺麗で、設備の整っている国はまじらない、ということのようです。

いくら日本のトイレが綺麗で快適とはいえ、初めて聞いた時にはにわかには信じられませんでした。大学生や社会人の中に、トイレの個室に弁当などを持ち込んで食べる人が一定数いる、という話です。

「あの人、友達がいなくて一人で食べているんだ」と周りの人に思われたくない、というのが主な理由なのだそうです。

食事に限らず、気の合う仲間たちとたわいもない話をしながら過ごす時間は楽しく、新しい発見などもしばしばあるので、私も好きなひと時です。

一方、誰とも行動を共にせず、一人で本を読んだり、外に出かけたりすることもまた、私にとっては必要で、かけがえない時間だと感じています。

「一人の時間を味わうことで、人格が磨かれる」このような意味の言葉を残したのは、150年ほど前に活躍したドイツの哲学者、ニーチェです。

一人静かに思考を巡らせることで、頭の中が整理され、考えがより深まったり、ひらめきにつながったりするものです。

子供たちもまた、友人や部活の仲間など何人かでワイワイ過ごす時間もあれば、一人で静かに過ごす時間もあるでしょう。そのバランスが大事だといえます。

今日、3月1日は県公立高校のいわゆる「合格発表」の日です。すでに結果が出ている私立の学校などと併せて、3年生はいよいよ進路先が決まり、間もなく新たな一步を踏み出すこととなります。

同じ高校に、複数の四中生が進学する例もありますが、これまで一緒に過ごした仲間が誰もいない学校に、一人で飛び込んでいく人も少なくありません。

また、1年生や2年生は間もなく進級となります。新しい組み合わせによる、新しいクラスでの生活が始まります。

新たな出会いは、これまでになかった挑戦への扉を開いてくれたり、思いがけない体験へと導いてくれたりするものです。

これまで培ってきたコミュニケーション力を発揮して、新しい人間関係を積極的に築いて欲しいものです。

一方で、気の合う仲間や友人を「早く作らなくては」と焦ったり、一人でいることに気まずさを感じたりする必要など全くありません。自分のペースで自分らしく過ごすうちに、「仲間との時間」と「一人の時間」の最適なバランスが、自然に見つかっていくはずだからです。

新たな一步を踏み出す四中生たちが、自分の世界を大きく広げ、さらに成長し続けていくことを期待しています。